

BMW トップ交代

12月9日、BMWの年末総会で、トップ **Nobert Reithofer** (ノーベルト・ライトホファー) が、勇退を発表。後任は、すでに後継者として有望と見られていた、49歳の **Harald Krüger** (ハラルド・クリューガー)。Reithoferは、BMWの技術、営業面をしっかりと把握し、着実にBMWの売上をのばし、今年、年商2百万台を記録、i3とi8のEVも、市場導入。今後は、現在 **Joachim Milberg** (ヨアヒム・ミルベルク) の顧問会のトップのポジションにつく。



現在顧問会のトップ Joachim Milberg は、引退。



新BMWのCEO H. Krüger

2015年の5月からは、Harald Krügerが、B陣頭指揮を執る。また、現在開発のトップ **Herbert Diess** (ヘルベルト・ディース) は、Wolfsburgへ転出、2015年の10月から、Volkswagenでの主要モデルを担当する。Herbert Diessは、Harald Krügerのライバル。今後は、新CEO、Harald Krügerは、BMW内部で、強い反対を受けずに、指揮してゆくことが出来ると、関係者は、見ている。



写真左
Diessは、VWへ転出



写真上 H. Krüger (左) と N. Reithofer (右)

今回のプレスリリースは、突然ではあったが、BMW社内、関係者は、意外に平静に、トップ交代を受け止めている。Krügerは、Freiburg生まれ。1992年、BMWに入社。すでに実習生としてBMWのワークショップを経験して以来、継続的にBMWに勤務してきている。2008年から、BMWのトップ役員会にジョイン。2013年4月には、事業部本部長。BMWのトップになるための必須のステップを踏んできている。Reithoferも、やはり同様のキャリアの道筋を経て、2006年に現在のBMWトップのポジションについている。

工学・機械学部出身のKrügerは、技術実践については、いうまでもなく深い知識経験をもっており、1990年代半ばは、米国の米国SpartanburgにあるBMWのプラントを、2003年から2006年は、英国のHarms HallにあるBMWのエンジン部を率いてきている。ミュンヘンに家庭を持つHarald Krügerは、現在、ブラジル、米国等のBMWの各拠点を行き来し、ドイツ国外のBMWの生産拠点の確立に勤しんでいる。今まで、Reithoferが、築き上げてきたBMWの技術と営業路線を堅実に引きついでゆくと見られる。(小澤エネルギー研究所 Setsuko Schwarzer)

Info Source:

<http://www.spiegel.de/wirtschaft/unternehmen/bmw-neuer-chef-krueger-ist-meister-des-geraechlossen-aufstiegs-a-1007472.html>